教科	外国語（英語）	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4
学年	２学年	科	普通科	専攻・コース	中高一貫
教科書	LANDMARK English Communication Ⅱ	副教材	準拠ワークブック ターゲット 1400		

学習到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 具体的な言語活動は以下の通り。 ア．事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 イ．説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。 ウ．聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ．聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書く。			
評価の観点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。英語での話し合い、意見交換、簡潔な作文ができる。	英語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。概要や要点を捉えることができる。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに，言語の背景にある文化などを理解している。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前	前期第1回定期試験	Preparatory Lesson Lesson 1 What's in a Name?	高校英語の学習に必要な基礎知識を身に付ける。（主語と動詞，品詞，句と節，フレーズリーディング） **〈題材内容〉** ・血液型性格判断に対する日本人と外国人の考え方の違いを理解する。 ・日本で血液型性格判断が流行る2つの理由（血液型分布の差，血液型の認知度の差）を理解する。 ・血液型性格判断の科学性について理解する。 ・「血液型性格判断を信じる／信じない」の事項を含めて英語で自己紹介をする。 **〈文法事項〉** 動名詞，不定詞について理解する。	
	前期第2回定期	Lesson 2 I'm the Strongest! Tips for Listening	〈題材内容〉 ・カレーのルーツや語源を理解する。 ・カレーがインドからイギリスに持ち込まれた経緯や，イギリスで普及した経緯を理解する。 ・明治時代に日本にやって来たカレーが全国に普及した経緯を理解する。 ・日本発のカレー関連食品の世界への広がりを理解する。 ・自分好みのカレーについて意見交換をする。	

期	試験		〈文法事項〉 分詞の後置修飾，現在完了形について理解する。	
	前期末試験	Lesson 3 Saint Bernard Dogs	**〈題材内容〉** ・山極教授のゴリラに対する関心を理解する。 ・ゴリラの胸たたきについて理解する。 ・ゴリラが平和的に争いを回避する方法を理解する。 ・ゴリラの絶滅と携帯電話の関わりについて理解する。 ・絶滅危惧種についてレポートを書き発表する。 **〈文法事項〉** seem の用法，現在完了進行形，倍数比較について理解する。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	Lesson 4 Chanel's Style	**〈題材内容〉** ・周生さんがVasco-5による旅を始めた経緯を理解する。 ・周生さんの旅の経過を理解する。 ・周生さんが旅によって得たことを理解する。 ・環境に優しい活動について意見交換をする。 **〈文法事項〉** 過去完了形，使役動詞＋O＋動詞の原形について理解する。	
	後期第2回定期試験	Lesson 5 Science of Love	**〈題材内容〉** ・福島医師の医師としてのキャリアを理解する。 ・福島医師の医師としてのモットーを理解する。 ・福島医師が医師になった経緯を理解する。 ・福島医師の後輩や患者との関わり方を理解する。 ・就きたい職業について意見交換をする。 **〈文法事項〉** It ～ that の形式主語構文，知覚動詞＋O＋動詞の原形 / 現在分詞，分詞構文について理解する。	
	学年末試験	Lesson 6 Gaudi and His Messenger	**〈題材内容〉** ・屋久島とエコツアーについて理解する。 ・屋久島の地理や気候について理解する。 ・屋久島の3つの観光地(白谷雲水峡，ウィルソン株，縄文杉)の特徴を理解する。 ・訪れてみたい日本の世界遺産について書き発表する。 **〈文法事項〉** 前置詞＋関係代名詞，関係副詞について理解する。 仮定法過去，仮定法過去完了について理解する。	

教科	外国語(英語)	科目	英語表現Ⅱ	単位数	2

学年	2	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	Vision Quest English Expression Ⅱ（啓林館）	副教材	Vision Quest 総合英語

学習到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
評価の観点	① コミュニケーションへの関心・意欲・態度　② 表現の能力：話すこと、書くこと　③ 理解の能力：聞くこと、読むこと　④ 言語や文化についての知識・理解

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	Lesson 1 お花見 Lesson 2 漫画の楽しみ	主語の決定 見えない主語の発見 主語の it 主語になる名詞句 形式主語 無生物主語	
	前期第2回定期試験	Lesson 3 京都へ観光に Lesson 4 私の家族です	自動詞と他動詞 間違えやすい自動詞と他動詞 群動詞 SVO SVOO	
	前期末試験	Lesson 5 保育園での授業体験 Lesson 6 サプライズパーティー	SVC SVOC 使役動詞 知覚動詞	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	Lesson 7 映画のお誘い Lesson 8 航空管制官になる	直接話法と間接話法 間接話法で伝達 「～する」 「～している」	
	後期第2回定期試験	Lesson 9 趣味はピアノ Lesson 10 『タイタニック』を見て	「～した」 「～していた」 能動態と受動態 日本語との違い	
	学年末試験	Lesson 11 世界遺産の魅力 Lesson 12 ボランティア活動	「もし（今）～ならば」 「もし（あの時）～だったなら」 義務・必要を表す助動詞 推量を表す助動詞	

教科	数学	科目	数学ⅡB	単位数	7

学年	2	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	新編　数学Ⅱ（数研出版） 新編　数学B（数研出版）	副教材	基本と演習テーマⅡ＋B （数研出版）

学習到達目標	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数，微分・積分及びベクトル，数列の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
評価の観点	１関心・意欲・態度、２知識・理解、３数学的な見方や考え方、４数学的な技能を定期試験、授業態度、課題提出、ノート提出などにより総合的に評価する。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
前期	前期第1回定期試験	**式と計算** **等式・不等式の証明** **複素数と2次方程式の解**	・3次式の展開と因数分解ができる。 ・整式の割り算の計算方法を理解している。 ・恒等式における文字の役割の違いを認識できる。 ・恒等式A＝Bの証明を，適切な方法で行うことができる。 ・与えられた条件式の利用方法を考え，等式を証明することができる。 ・複素数の四則計算ができる。 ・2次方程式の解の公式を利用して，2次方程式を解くことができる。 ・解と係数の関係を使って，対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。	
	前期第2回定期試験	**高次方程式** **点と直線** **円**	・因数分解や因数定理を利用して，高次方程式を解くことができる。 ・座標平面上において，2点間の距離が求められる。 ・与えられた条件を満たす直線の方程式を求められる。 ・2直線の平行条件・垂直条件を理解している。 ・点と直線の距離の公式を理解している。 ・与えられた条件を満たす円の方程式を求められる。 ・x，yの2次方程式を変形して，その方程式が表す図形を調べることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。	
	前期末試験	**軌跡と領域** 三角関数 加法定理	・平面上の点の軌跡を，座標平面を利用することができる。 ・軌跡の定義を理解し，与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を図示することができる。 ・連立不等式の表す領域を図示することができる。 ・一般角を動径とともに考察することができる。 ・弧度法で表された角の三角関数の値を，三角関数の定義によって求めることができる。 ・単位円上の点の動きから，三角関数のグラフを考えることができる。 ・三角関数を含む2次方程式の解き方を理解している。 ・加法定理を利用して，種々の三角関数の値を求めることができる。 ・角を弧度法で表した場合にも，加法定理が適用できる。 ・2 倍角の公式を利用して，三角関数を含むやや複雑な方程式を解くことができる。 ・$a\sin\theta+b\cos\theta$ を $r\sin(\theta+\alpha)$ の形に変形する方法（三角関数の合成）を理解している。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後期	後期第1回定期試験	**指数関数** 対数関数 **微分係数と導関数**	・指数法則が成り立つように，指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。 ・累乗根の定義を理解し，累乗根の計算ができる。 ・負の数の n 乗根に興味を示し，具体的に理解しようとする。 ・指数関数のグラフの概形，特徴を理解している。 ・指数関数の増減によって，大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ・対数 $\log_a M$ が $M=a^p$ を満たす指数 p を表していることを理解している。 ・対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。 ・対数関数のグラフの概形，特徴を理解している。 ・対数関数の増減によって，大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 ・常用対数の定義を理解し，それに基づいて種々の値を求めることができる。 ・平均変化率，微分係数の定義を理解している。 ・導関数を利用して微分係数が求められる。 ・接線の方程式の公式を利用して，接線の方程式を求めることができる。 ・関数の増減や極値を調べるのに，増減表を書いて考察している。	
	後期第2回定期試験	**関数の値の変化** 積分法 **ベクトルとその演算**	・導関数を利用して，関数の極値を求めたり，グラフをかくことができる。 ・不定積分の定義や性質を理解している。 ・定積分の定義や性質を理解し，それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。 ・ベクトルの向き，相等について理解している。 ・ベクトルの加法，減法，実数倍の計算の仕組みを理解している。 ・成分表示されたベクトルを，2 つのベクトルの和，差に表現できる。	
	学年末試験	**ベクトルと平面図形** **空間のベクトル**	・線分の内分点・外分点を位置ベクトルで表す公式を理解している。 ・ベクトルの分解の一意性を理解している。 ・垂直条件をベクトルの内積で表現して考察できる。 ・座標空間において，点の座標や原点との距離が求められる。 ・空間のベクトルを，与えられた 3 つのベクトルで表すことができる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ，和，差，実数倍の計算ができる。 ・成分表示されたベクトルについて，内積を計算できる。 ・ベクトルのなす角を，内積を利用して求めることができる。 ・3 点が定める平面上に点 P があることを，ベクトルで表現して利用できる。	

教科	国語	科目	現代文・古典Ｂ	単位数	4

学年	2	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	筑摩「精選現代文Ｂ」・第一「古典Ｂ」	副教材	第一標準古典文法/古典文法ワークノート 東書「新総合図説国語」

学習到達目標	現代の評論や小説を的確に読解し、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 古文や漢文の文法知識を使い、自分で正しく読解できる。 古典文学への関心を深める。
評価の観点	的確に読解し、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 古典文法や語句の意味を理解し、知識を身に付けている。 古典を読み味わい、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	古典文法 「敬語基礎の確認」 古文読解 「説話」 漢文 「故事・寓話」	敬語表現法を理解する。 敬語表現の種類を覚える。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 使役・疑問・仮定・感嘆・否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 故事成語の由来を正確に理解し、現代における故事成語の使い方を習得する。	古文単語 1～45 語彙ノート P.4～13
	前期第2回定期試験	古典文法 「助詞」 古文読解 「随筆」 漢文 「史話」	主な助詞の用法について覚える。 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 少々長い文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 疑問・二重否定・反語・使役・否定・比較などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	古文単語 46～75 語彙ノート P.14～25
	前期末試験	古典文法 「敬語の応用」 古文読解 「物語」	注意すべき敬語表現について覚える。 構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 音便や挿入句といった、語り物の特色について理解する。	古文単語 75～135 語彙ノート P.26～37

		漢文 「項羽と劉邦」	禁止・反語・疑問・抑揚・感嘆・仮定な どの句形の読みと意味とについて理解 し、それに即して口語訳をする。 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	現代文 「評論」 漢文 「項羽と劉邦」	接続語・指示語などに注目しながら丁寧に文脈を追い、対比・類似（言い換え）・具体と抽象・比喩の関係を捉えて、論の構造をつかむ。 禁止・反語・疑問・抑揚・感嘆・仮定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 歴史の中の人間について考える。	古文単語 136～165 語彙ノート P.40～47
	後期第2回定期試験	古文読解 「随筆」 漢文 「唐詩」 現代文 「小説」	随筆を読んで、人間、社会、自然などに 対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の表現上の特色を理解する。 漢詩のさまざまな描写に接し、そこに うたわれているものを的確に捉える。 仮定・疑問・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 文学的な文章にあらわれた、人物の喜びや悲しみなどの心情をリアルにとらえ、優れた描写を味わうことを通して、ものの見方・感じ方を広げる手助けにする。	古文単語 181～210 語彙ノート P.56～59
	学年末試験	古文読解 「日記」 漢文 「儒家の思想」 現代文 「小説」	日記を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。 反語・限定・疑問・仮定・二重否定など の句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。 本格的な文学作品を読むことを通して、作品の成り立ちを含めた立体的な読みを構築する方法を学ぶとともに読書に親しみ、人生についての考えを深め、生涯にわたって国語に関わる態度を養う。	古文単語 211～225 語彙ノート P.60～77

教科	外国語(英語)	科目	英語会話	単位数	2

学年	2	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	Sailing English Conversation（啓林館）	副教材	準拠ワークブック

学習到達目標	１．高校生が興味をもち楽しめる話題を通して，リスニングとスピーキングに重点を置くと同時に，情報や考えを理解する，自分の考えをまとめて発表するなど幅広くコミュニケーション活動する能力を身につける。 ２．受動的な学習にとどまらず，自らが積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 ３．異なる文化を理解し尊重する態度を育てる。
評価の観点	① コミュニケーションへの関心・意欲・態度　② 外国語表現の能力 ③ 外国語理解の能力　④ 言語や文化についての知識・理解

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	Unit 1 Warm-up 1 English Around the World Warm-up 2 People Around Us Unit 2 Lesson 1 What day Is Convenient for You?	＜自己紹介＞ ・さまざまな人の自己紹介を聞いて，必要な情報を得る方法を学ぶ。 ・自己紹介の方法を学ぶ。 ＜他人紹介＞ ・他人紹介を聞いて，必要な情報を得る方法を学ぶ。 ・友人や周囲の人物を紹介する方法を学ぶ。 <学校生活／予定を述べる> ・学校生活について必要な情報を得たり，会話したりする方法を学ぶ。 ・自分の予定を述べたり相手の予定について質問したり，誘ったりする方法を学ぶ。	
期	前期第2回定期試験	Lesson 2 How Was Last Sunday? Lesson 3 Could I Have an Extra Blanket? Lesson 4 Who’s calling, Please?	<週末の出来事／質問する・後悔する> ・過去の出来事について質問したり答えたりする方法を学ぶ。 ・できなかったことを後悔する表現を学ぶ。 <機内／依頼する・禁止する> ・機内を想定して，自分の要求を依頼する方法を学ぶ。 ・機内アナウンスから必要な情報を聞き取る練習をし，禁止表現を学ぶ。 <電話／誘う> ・電話での応答表現を学ぶ。 ・電話で必要な情報を得る練習する。 ・誘う、誘いを受ける（又は断る）表現を学ぶ。	

	前期末試験	Lesson 5 How Can I Get There? Show & Tell	<道案内／感謝する> ・人に道を聞く時，聞かれた時の応答の仕方を学ぶ。 ・感謝および感謝に応答する表現を学ぶ。 ・写真や道具を使って，自分の好きな場所・人物などを紹介する方法を学ぶ。 ・スピーチ原稿の組み立て方を学ぶ。 ・スピーチのときの効果的な話し方を練習する。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	Lesson 6 May I Help You? Lesson 7 You Look Nice in That Dress! カリフォルニア研修準備	<ショッピング／情報を得る> ・買い物をするときの応答の仕方を学ぶ。 ・金額など，数字を聞き取る練習をする。 ・買いたい物の色やサイズ，値段などの情報を引き出せるように練習する。 <パーティー／ほめる・描写する> ・相手をほめる表現，それを受ける表現を学ぶ。 ・人を描写する表現を学ぶ。 ・カリフォルニア研修でのプレゼン（日本の文化等）のテーマ決め、情報収集、原稿書き、発表練習等をする。	
	後期第2回定期試験	カリフォルニア研修 Lesson 8 I'm Not Feeling Well	・これまで学んできた表現の実践の場として、研修に参加する。 ・研修で学んだこと、感想をレポートにして発表する。 <病院／体調を述べる・助言する> ・体の部位や症状の表現を使って，体調やけがの症状を述べる方法を学ぶ。 ・体調や病気などに関して助言をする表現を学ぶ。	
	学年末試験	Lesson 9 I Want to Be a Diplomat	<職業／未来について述べる・希望を述べる> ・未来について述べる方法を学ぶ。 ・希望を述べる方法を学ぶ。	

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2

学年	2	科	普通	専攻・コース	中高一貫

教科書	高等学校生物基礎(第一学習社)	副教材	セミナー生物基礎(第一学習者)

学習到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方ができるようになる。
評価の観点	①生物・生物現象に関心を持っているか。 ②授業に積極的に取り組めているか。 ③学習内容に関する知識・技能が身についているか。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	・皮膚の役割 ・自然免疫 ・獲得免疫	・異物が体内に侵入する前に皮膚や上皮において排除するしくみがあることを理解できる。 ・自然免疫の特徴を理解できる。 ・獲得免疫のうち、体液性免疫と細胞性免疫の働きと違いを理解できる。	
	前期第2回定期試験	・自律神経系 ・内分泌系 ・血糖量の調節	・器官の働きを調節する、交感神経と副交感神経の働きについて理解する。 ・体内環境の維持がホルモンによっても行われていることを理解できる。また、自律神経系との違いも理解できる。 ・血糖量が、自律神経系と内分泌系の働きによって調節されていることを理解できる。	
	前期末試験	・バイオーム ・植生の成り立ち	・地域ごとに動物、植物、菌類、細菌類も含めた生物全体の集団としてバイオームが形成されることを理解することができる。 ・植物はそれぞれの環境に適応した生活様式を発達させ、それを反映した生活形を示すことが理解できる。	

		・さまざまな植生 ・植生の遷移	・バイオームを構成するさまざまな植生には、それぞれに特徴がみられることを理解できる。 ・遷移には始まりの条件によっていくつかのパターンがあることを理解できる。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	・気候とバイオーム ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム	・地球上にはさまざまなバイオームが存在することを理解できる。 ・世界の気候に応じて、多様なバイオームが存在することを理解できる。 ・日本にも気温に応じたバイオームが存在すること、日本の気温を変動させる要素について理解できる。	
	後期第2回定期試験	・生態系の成り立ち ・生態系内の物質循環とエネルギーの流れ	・生態系は非生物的環境と生物的環境に分けられ、それらの間にある関係を理解することができる。 ・既習事項である、食物連鎖と生態系内の物質循環を関連付けて理解することができる。	
	学年末試験	・生態系のバランス ・人間活動による生態系への影響 ・自然環境の保全	・生態系を構成する生物の個体数や量が相互にバランスを取りつつ変動していることを理解できる。 ・人間活動が自然に与える影響を理解することができる。 ・自然環境の保全に向けた取り組みが国際的に行われていることを理解し、人間が生態系から受ける恩恵についても理解することができる。	

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2

学年	2	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	地学基礎（東京書籍）	副教材	ﾆｭｰｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ地学基礎（東京書籍） ﾆｭｰｽﾃｰｼﾞ新地学図表（浜島書店）

学習到達目標	地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、地学的な見方や考え方をすることができる。
評価の観点	・地学に興味・関心を持って、授業を受けることができる。 ・地学の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	・地球の形・大きさ ・地球の構造 ・リソスフェア ・アセノスフェア ・プルーム ・プレート境界	・アリストテレスが地球は球であるとしたことや、エラトステネスの地球の大きさの求め方を理解する。 ・地球の内部構造を理解する。 ・流動のしやすさで、リソスフェアとアセノスフェアに分けられることを理解する。 ・プルームによって、プレートが動かされることを理解する。 ・プレート境界の種類を知り、そこではさまざまな地学現象が発生することを理解する。 ・沈み込み口が海溝となることを理解する。	
	前期第2回定期試験	・地震のメカニズム ・プレート内地震 ・プレート境界地震 ・活断層 ・地震による災害	・地震は断層運動によって起こることを理解する。 ・地震波のエネルギーは、マグニチュードが1大きくなると約32倍、2大きくなると1000倍になることを理解する。 ・活断層の位置を知ることが、防災に役立つことを知る。 ・緊急地震速報について理解する。	
	前期末試験	・火山のできる場所（海嶺・沈み込み帯・ホットスポット） ・火山活動 ・火成岩 ・火山による災害	・火山はマグマの出口であることを理解する。 ・火山の分布はプレート境界部に多いことを理解する。 ・マグマの性質（粘性）によって、火山の形や噴火のようすが異なることを理解する。 ・マグマの化学組成と零局速度の違いによって、いろいろな火成岩できることを理解する。 ・火山噴火による災害を知る。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	・大気 ・太陽放射と地球放射 ・地球の熱収支 ・大気の大循環 ・海水の循環 ・海の災害	・地球大気は、窒素、酸素、アルゴンの混合気体であることを理解する。 ・大気は気温の高度変化にしたがって4つに分けられることを理解する。 ・地球全体と緯度ごとの放射平衡について理解する。 ・大気の流れを理解する。 ・大陸と海洋とで、風向、風速、天気のパターンが大きく異なることを理解する。 ・ハドレー循環、偏西風、極循環が熱を運んでいることを理解する。 ・海水の密度は塩分と温度で決まり、その密度差によって上昇、沈降することを理解する。 ・海水は温度の鉛直分布によって分類渭されることを理解する。	
	後期第2回定期試験	・地球システム ・フィードバックのしくみ ・エルニーニョ現象 ・ラニーニャ現象 ・人間活動の自然環境への影響	・地球システムを理解する。 ・1つの現象は、複数のサブシステムにまたがって起こっていることを理解する。 ・エルニーニョ現、、ラニーニャ現象を理解する。 ・人間の活動が自然環境へ与える影響を知る。	
	学年末試験	・日本の自然環境 ・自然エネルギー ・自然災害 ・これからの地球環境	・日本の鉱物資源を知る。 ・自然災害は人間生活の移り変わりとともに変化することを理解する。 ・二酸化炭素をほとんど排出しないさまざまな代替エネルギーを知る。 ・これからの地球環境について考える。	

教科	地歴	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位

学年	２年	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材	アカデミア世界史（浜島書店） 詳説世界史 10 分間テスト（山川出版社）

学習到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本国美としての自覚と資質を養う。
評価の観点	ａ関心・意欲・態度・・世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 ｂ思考。判断・表現・・世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ｃ資料活用の技能・・世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ｄ知識・理解・・世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第１回定期試験	序章　先史の世界 第１章 　オリエントと地中海世界 １．古代オリエント世界 ２．ギリシア世界	・人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の文化を理解する。 ・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。	
	前期第２回定期試験	3.ローマ世界 第２章 　アジア・アメリカの古代文明 １.インドの古典文明 ２.東南アジアの諸文明 ３.中国の古典文明	・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。 ・南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。 ・東南アジアの地理的特質を把握し、国家形成の過程を理解する。 ・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。	
	前期末試験	（続き）２.中国の古典文明 4.南北アメリカ文明 第３章 　内陸アジア世界・ 　東アジア世界の形成 1.草原の遊牧民とオアシスの定住民 2.北方民族の活動と中国の分裂 3.東アジア文化圏の形成	・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。 ・北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。	

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	第4章 　イスラーム世界の形成と発展 1.イスラーム世界の形成 2.イスラーム世界の発展 3.イスラーム化の進展 4.イスラーム文明の発展 第5章 　ヨーロッパの形成と発展 1.西ヨーロッパ世界の成立	・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。 ・神秘主義（スーフィズム）の影響、インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大を理解する。 ・イスラーム文明の特質と影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。 ・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。	
	後期第2回定期試験	（続き） 1.西ヨーロッパ世界の成立 2.東ヨーロッパ世界の成立 3.西ヨーロッパ中世世界の変容 4.西ヨーロッパの中世文化	・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 ・教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。	
	学年末試験	第6章 　内陸アジア世界・ 　東アジア世界の展開 1.トルコ化とイスラーム化の進展 2.東アジア諸地域の自立化 3.モンゴルの大帝国 第7章 　アジア諸地域の繁栄 1.東アジア世界の動向	・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交代、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。 ・中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。	

教科	地歴公民	科目	日本史Ｂ	単位数	４単位

学年	２年	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	山川出版社 詳説　日本史Ｂ	副教材	帝国書院　図説　日本史通覧

学習到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
評価の観点	◇平常の授業に取り組む姿勢、定期考査の結果、課題やレポートなどの提出物の状況を総合的に判断し、尚かつシラバスに記載した評価の観点に即して総合的に判断する。 ◇授業への取り組む姿勢は、授業態度、ノート提出、発表の状況などを評価の対象とする。 ◇課題やレポートなどの提出物では、提出期日や分量を守れたか、自分の視点で考察できたか、丁寧に書くことができたか等を主な判断基準とする。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前	前期第１回定期試験	**第Ⅰ部　原始・古代** **第１章　日本文化のあけぼの** １．文化の始まり ２．農耕社会の成立 ３．古墳とヤマト政権	＊人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ＊大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて弥生文化の形成を考察する。 ＊集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。 ＊地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ＊ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ＊古墳時代後期～終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。	
	前期第２回定期	**第２章　律令国家の形成** １．飛鳥の朝廷 ２．律令国家への道	＊ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ＊律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。 ＊律令に基づく国内統治体制について理解する。	

期	試験	３．平城京の時代 ４．天平文化	＊律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ＊平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する ＊天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。	
	前期末試験	５．平安王朝の形成 **第３章　貴族政治と国風文化** １．摂関政治 ２．国風文化 ３．地方政治の展開と武士	＊平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ＊藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 ＊大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 ＊律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ＊地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、源氏などを例にとって考察する。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後	後期第１回定期試験	**第Ⅱ部　中世** **第４章　中世社会の成立** １．院政と平氏の台頭 ２．鎌倉幕府の成立 ３．武士の社会	＊院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ＊政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 ＊鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ＊承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察する。 ＊武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。	
	後期第２回定期	４．蒙古襲来と幕府の衰退 ５．鎌倉文化	＊蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。 ＊庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	

期	試験	**第５章　武家社会の成長** １．室町幕府の成立	＊南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ＊琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。	
	学年末試験	２.幕府の衰退と庶民の台頭 ３．室町文化 ４．戦国大名の登場	＊庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ＊諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 ＊武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 ＊庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 ＊応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	

教科	理科	科目	化学	単位数	5

学年	2	科	普通科	専攻・コース	中高一貫

教科書	化学（数研出版）	副教材	セミナー化学（第一学習社） 化学の徹底暗記＆ドリル（啓林館） 化学図録（数研出版）

学習到達目標	自然の事物・現象について、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方をすることができる。
評価の観点	・化学に興味・関心を持って、授業を受けることができる。 ・化学の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	・原子とイオン ・イオン結合とイオン結晶 ・分子と共有結合 ・共有結合の結晶 ・金属結合と金属 ・物質の三態と状態変化	・価電子の数と元素の性質には、重要な関係があることを理解する。 ・結晶格子の立体構造を理解し、配位数、単位格子中の原子数などを算出することができる。 ・配位結合について理解し、錯イオンの構造を説明できる。 ・分子を極性分子、無極性分子に分類できる。 ・拡散や大気圧の生じる原因は構成粒子の熱運動であることを理解する。 ・水の状態変化の過程で出入する熱量を、比熱や融解熱・蒸発熱などを用いて求めることができる。	・セミナー化学 ・化学の徹底暗記＆ドリル
	前期第2回定期試験	・気体の体積 ・気体の状態方程式 ・混合気体の圧力 ・実在気体	・気体の変化からボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則を導いたり使ったりすることができる。 ・気体の状態方程式を使って、計算問題が解ける。 ・ドルトンの分圧の法則を理解し、成分気体の分圧や混合気体の全圧を求めることができる。 ・理想気体と実在気体のずれについて理解し、実在気体はどのような条件にすると理想気体に近くなるか理解する。	・セミナー化学 ・化学の徹底暗記＆ドリル
	前期末試験	・溶解 ・溶解度 ・希薄溶液の性質 ・コロイド溶液	・水和という現象を理解し、水に溶解する物質と溶解しない物質に分類できる。 ・固体の溶解度、気体の溶解度（ヘンリーの法則）について理解し、それに関連	・セミナー化学 ・化学の徹底暗記＆ドリル

			する問題を解くことができる。 ・濃度（質量パーセント濃度、モル濃度、質量モル濃度）の表し方を理解する。 ・蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などを理解し、それに関連する問題を解くことができる。 ・コロイド溶液の性質（凝析、チンダル現象、電気泳動など）を理解する。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後期	後期第1回定期試験	・化学反応と熱 ・化学反応と光	・化学反応には発熱反応と吸熱反応があることを理解する。 ・熱化学方程式の書き方と意味を理解している。 ・ヘスの法則を使って、不明な反応熱を求めることができる。結合エネルギーと反応熱の関係を理解している。 ・化学反応には光エネルギーを放出、または吸収して進む反応があることを理解している。 ・光化学反応や化学発光を理解している。	・セミナー化学 ・化学の徹底暗記＆ドリル
	後期第2回定期試験	・電池 ・電気分解	・ダニエル電池、ボルタ電池、鉛蓄電池、燃料電池について、しくみ反応を理解している。 ・二次電池の放電と充電について理解している。 ・水溶液を電気分解したときに起こる反応を、電解質と電極から判断できる。 ・ファラデーの法則を理解し、電気分解に関する問題が解ける。	・セミナー化学 ・化学の徹底暗記＆ドリル
	学年末試験	・化学反応の速さ ・反応条件と反応速度 ・化学反応のしくみ ・可逆反応と化学平衡 ・平衡状態の変化 ・電解質水溶液の化学平衡	・同じ反応でも着目する物質によって反応速度が異なることを理解し、化学反応式の係数の関係を使って反応速度を求めることができる。 ・反応速度と濃度、温度、触媒、表面積の関係を理解する。 ・反応速度と反応物の濃度の関係を反応速度式で表すことができる。 ・化学反応でのエネルギー変化における活性化エネルギーと反応熱について理解する。 ・触媒を加えると活性化エネルギーは変化するが、反応熱は変化しないことを理解する。	・セミナー化学 ・化学の徹底暗記＆ドリル

教科	理科	科目	生物	単位数	5

学年	2	科	普通	専攻・コース	中高一貫

教科書	高等学校生物(第一学習社)	副教材	セミナー生物(第一学習者)

学習到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方ができるようになる。
評価の観点	①生物・生物現象に関心を持っているか。 ②授業に積極的に取り組めているか。 ③学習内容に関する知識・技能が身についているか。

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
前期	前期第1回定期試験	・生体物質と細胞 ・細胞膜を介した物質の移動 ・生命現象とタンパク質	・生命の基本単位である細胞の構成物質や化学的性質を理解するとともに、それらの働きにより複雑な生命現象が行われていることが理解できる。 ・細胞膜を介して物質が移動する際に輸送体やチャネルなどの複数の構造体が関与していることを細胞膜の化学的な性質と関連付けて理解することができる。 ・体内のさまざまな生命現象におけるタンパク質の特性や働きを理解することができる。	
	前期第2回定期試験	・代謝とエネルギー代謝 ・同化 ・窒素同化	・生命を維持するために行われている代謝が、細胞内の物質の化学変化によって行われていることを理解できる。 ・植物の葉緑体内で行われる有機物合成反応について理解することができる。 ・既習事項である、窒素固定、窒素同化の際に起こる化学反応を理解することができる。	

		・異化	・ATP を合成するために、多くの反応系が存在し、化学反応を促進するために多くの酵素が関与していることを理解することができる。	
	前期末試験	・遺伝情報とその発現 ・遺伝子の発現調節 ・バイオテクノロジー	・既習事項である、DNA の転写と翻訳に関わる酵素の働きについて理解することができる。 ・真核生物、原核生物の遺伝子発現の調節機構に関して理解するとともに、それらを制御するタンパク質の働きを理解する。 ・遺伝子を扱った技術の基本的な原理を理解するとともに、その利便性や倫理的問題点などに関しても考えることができる。	
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備　考
後	後期第1回定期試験	・減数分裂と受精 ・遺伝子と染色体 ・配偶子形成と受精	・さまざまな生物の生殖方法を理解し、それぞれの方法に関して、遺伝物質の伝達と関連付けて理解ができる。 ・染色体の分配と、染色体上で起きる遺伝情報の組み換え、そこから生じる遺伝的多様性に関して理解することができる。 ・減数分裂による配偶子形成の原理や、受精の過程に関して、理解することができる。	
	後期第2回定期試験	・初期発生の過程 ・細胞の分化と形態形成	・卵の種類と卵割様式を理解し、三胚葉から特定の器官が生じることや、胚葉の相互作用によって生じる器官があることを理解できる。 ・生物の体の形成が、発生段階に応じて発現する、誘導物質や受容体の発現に起因するものであると理解することができる。	

期	学年末試験	・器官の形成と細胞の死	・細胞の分化が進む中で、遺伝的にプログラムされた細胞死が起き、それによって生物の体が形作られることを理解するとともに、細胞の分化と全能性に関しても考えることができる。	
		・配偶子形成と胚発生	・植物の受精様式を構造と関連付けて理解することができる。また、植物の体が、複数の調節遺伝子の働きによって形作られることを理解することができる。	
		・植物の環境応答と植物ホルモン	・植物の栄養成長や生殖成長がさまざまな種類の植物ホルモンによって調節を受けていることを理解することができる。	